

平成 25 年度第 2 回青森市景観審議会 会議概要

会議名	平成 25 年度第 2 回青森市景観審議会
開催日時・場所	平成 25 年 9 月 26 日 (木) 9 時 00 分 ~ 11 時 30 分 青森市役所 柳川庁舎 2 階 講堂
出席者	< 審議委員 > 安部委員、安保委員、石澤委員、板垣委員、斎藤委員、櫻田委員、佐々木委員、須藤委員、竹浪委員、対馬委員、藤川委員、水尻委員、山本委員 < 事務局 > 都市整備部 工藤部長、桜庭次長、 都市政策課 長井課長、工藤副参事、武田主幹、中堤技師 < 事業担当課 > 道路建設課 奈良岡課長、櫻田主幹、小田主幹、高橋主査、工藤主査 浪岡事務所健康福祉課 加福副参事、小笠原主事、平野専任員 (設計委託先 株式会社狩野尾建築設計事務所 三上氏)
欠席者	近藤委員、玉熊委員、森内委員
担当課	案件 1 【 中心市街地歩道融雪施設等整備事業 】 【 資料 1 】 中心市街地歩道融雪施設等整備事業資料に基づき説明。
山本委員	今回融雪方式がヒートパイプ方式ということだが、地上に分電盤などの機器類は設置されないのか。
担当課	今回は電気やヒートポンプを一切使わないので、地上に分電盤などの機器等は設置されない。
水尻委員	今回の施工箇所で、アーケードが途中で切れている箇所があるが、今後この通りはアーケードを撤去していく予定なのか。
担当課	アーケードの所有者は、行政ではなく、その地区の商店街なので、今後どうするかは商店街の方々の判断になる。
阿部委員	舗装材料は破損しづらい十分な強度を有するものを使用することだが、既存の舗装材と比べてどのくらい強度があるのか、データがあったら提示していただきたい。
担当課	厚み 3 cm のものを 4 . 5 cm にすると、約 2 倍の強さになる。
斎藤委員	新町は県道であると記憶しているが、今回の計画については県と調整しているのか。
担当課	調整している。
竹浪委員	今回の案件である中心市街地の歩道はピンク系の色で計画しているが、次の案件である平和公園通りは茶系統が強い色調となっている。今後、歩道の整備を進めて

	いった場合にこれらの色が接してしまい、統一性がなくなってしまう恐れがあるので、一工区ごとではなく 区域全体として統一性を考える必要があるのではないかと。
担当課	デザインについては、これまでもその地区の商店街の方々等と議論をしながら路線ごとに決めてきた経緯があり、区域として統一性がない場所が中にはあるかもしれないが、全体の方針としては掲げているので、その方針の範囲で進めていきたいと考えている。
須藤委員	舗装材が割れた場合にアスファルトで補修することになると思うが、これは見た目があまりよくない。 破損を少なくするために厚い材を使うとのことだが、それだけで対処できるのか。何か新しい対策等があれば教えていただきたい。
担当課	熱効率が優れている電気融雪方式であれば、舗装材を厚くし、破損をおさえることができるが、維持管理費高く、なかなか整備が進まないという問題があった。 このため、維持管理費の面で優れているヒートパイプ方式が採用されてきているが、熱効率が悪いと、舗装材を薄くする必要があり、車の乗り入れ等により破損しやすくなっている。 そこで、今回は融雪の部分は高強度の薄い舗装材とし、融雪以外の部分は厚い舗装材とするので、これまでよりは破損が少なくなると考えている。
藤川委員	今回施工する箇所の舗装材が鮮やかなピンク色となっているが、周辺の舗装は落ち着いたピンク色となっているため、調和しないのではないかと。
担当課	周辺の舗装は経年劣化で落ち着いたピンク色となっており、今回の施工部分も年が経てば落ち着いた色合いになると考える。 また、この色調に関しては地元の商店街の方に意見を求めた上で決めたものであると、この色彩で進めたいと考えている。
議長 (佐々木会長)	他はいかがか。 ご意見がないようなので、当審議会としては、この案件に対して意義なしと判断する。 ただし、この案件とは別だが、市全体としてのデザインの統一性に配慮して今後進めていただきたい。
担当課	案件 2【平和公園通り線道路整備事業】 【資料 2】平和公園通り線道路整備事業資料に基づき説明。
安保委員	街路灯をねぶた時期に白色灯に取り替えるということだが、数はどのくらいか。
担当課	うとう橋通りと平和公園通り線については今ある街路に灯色用とナトリウム灯が 2 つ付いており、夏のねぶた期間中はねぶたの色が映えるように自然光の白色にし、それ以外の期間は車の安全運転上光が通りやすいナトリウム灯としている。

阿部委員	今回ナトリウム灯を使用するということだが、今後経済性の面から街路灯のLED化は考えていないのか。
担当課	防犯灯については既にLED化に着手しているが、街路灯についても最近LEDの商品化がされたことから、今後取り組んでいきたい。
藤川委員	街路灯が吊り下げられる形だが、ねぶたに接触しないのか。
担当課	接触しない高さである。
水尻委員	小学校が近くにあるので、歩道と自転車道がはっきり分かるようにしていただきたい。
担当課	歩道にマーキングするとすれば公安委員会と協議する必要があるので協議する。
山本委員	舗装した後に下水道管やガス管の引き込みにより舗装材を壊さなければならない状況にならないようにしていただきたい。
担当課	この路線は、宅地への引き込み電気、水道、ガス管はすべて配置済みなので、そのような状況になることは少ないと考える。
板垣委員	例えば歩道の中で自転車道はこの色にするなど、色に意味を持たせてはどうか。
石澤委員	ついで意見だが、マーキングするという話があったのだが、景観的には標識等はないほうが良いと思う。 また、色で表現すると、ペンキがはげてくると景観上よろしくない。 このため、石や平板で表現したほうがよいと思う
担当課	今後検討していきたい。
斉藤委員	今後、平和公園や海の方まで延長する計画はあるのか。
担当課	来年度「冬期バリアフリー計画」の見直しを予定しており、その中で検討することとなる。
議長 (佐々木会長)	通りによって色を変えているのはなぜか。 また、今回施工する平和公園通りの歩道と自転車道路の色が逆の方がよいのではないか。
担当課	計画地周辺がホテルやオフィスビルが建っているため、建物側を都会的なグレーとしたほうがよいと考えている。 なお、歩道の色彩については、地元町会等から意見も伺っている。
須藤委員	通りごとに色が違うと、統一性のない景観になってしまう。 先ほど話しに出たが、例えば自転車道を統一した色にすればきれいな街になると思う
担当課	これまで施工してきた部分もあり、たとえば市の歩道を全て施工する場合であれば統一することが可能だが、現状では難しい。 ただ、統一性を持たせるというご意見は非常に大事だと思うので、いただいたご意

	見を念頭に置きながら今後整備を進めていきたい。
議長 (佐々木会長)	他はいかがか。 ご意見がないようなので、当審議会としては、この案件に対して意義なしと判断する。 ただし、市全体として統一的なデザインとなるよう努力していただきたいということを付帯意見として付け加える。
担当課	案件 3【国民保養センター花岡荘改修事業】 【資料 3】国民保養センター花岡荘改修事業資料に基づき説明。
板垣委員	二つ看板があり、これらの文字は統一したようだが、デザインが違いすぎると感じる。
担当課	イメージを揃えるようにする。
山本委員	外壁は木の調子を出すために色の濃淡で表現するとのことだが、実際にこのパースのように色を塗れるのか。
担当課	手間はかかるが、技術的には可能である。 施工する上ではこのパースのイメージとかけ離れることがないように留意して進める。
石澤委員	このパースのとおりにできたら素晴らしいデザインだと思う。 看板については、湿生花園周辺のサイン計画があると思うが、そのデザインと統一したほうがよいのではないか。 それと、室内の壁の素材を自然素材として癒せるような雰囲気作りをしていただきたい。
担当課	看板については統一性させるよう進めていきたい。 外が自然的な景観の地区なので、室内についても木のイメージで考えていきたい。
斎藤委員	植栽について、なぜドウダンツツジを選んだのか。
担当課	ここは自然豊かな地域で、向かい側も高い木や桜の木があることから、低木のほうがよいのではないかということと、四季おりおり紅葉にもなり色彩的にもドウダンツツジがよいと考えた。
議長 (佐々木会長)	他はいかがか。 ご意見がないようなので、当審議会としては、この案件に対して意義なしと判断する。
	- 終了 -